

教育

Education

フリースクールと学校の連携を

京滋でも

利用料を公的助成する動き

不登校の児童生徒が学校の代わりに通う施設「フリースクール」の利用料を公的助成する動きが滋賀や京都で広がりはじめている。月額数万円にも上る利用料の家庭負担を軽減し、学校に行けず、苦しむ子どもの居場所や学びの確保を後押しする狙いがある。フリースクールの果たす役割を各自治体が認識しつつある現状を反映しているが、施設側と学校の連携には課題が残る。

(生田和史)

文部科学省の調査によると、フリースクールの月額利用料は平均3万3千円。2021年9月に滋賀県内の自治体で初めて助成制度を設けた草津市は、市が認定する施設を対象に、各家庭の経済状況に応じて最大月額4万円を助成する。同市教育委員会児童生徒支援課によると、市内では21年度時点で小学生114人、中学生207人が年間30日以上の不登校となっており、初年度は11人、翌22年度には15人が制度を利用している。

対して、学校以外の場合でも学びの機会が提供されるべきだと初めて明記した17年施行の教育機会確保法がある。滋賀県内では、草津市に続いて、22年4月に彦根市と米原市、同年7月に甲賀市が制度を設けた。京都府では亀岡市が本年度、月額最大1万円を補助する制

度スタートさせた。こうした動きについて、草津市でフリースクール「A-COLORS」を運営する鈴木正樹社長(55)は「制度は評価できるが、それだけでは不十分。施設と学校が連携をより密にして、子ども第一で自立を支援することが重要だ」と指摘する。施設側が子どもの

き込んだ詳細な学習記録のほか、ノートや創作物を提出する。例えば、映画館でシベリア抑留を題材にした映画「ラーゲリより愛を込めて」を観賞して、感想文を書いた実績を「社会」、鯖街道を5も踏破したことを「体育」の授業内容として記している。学校側はこれらの記録を参考に評価を行う。

その結果、通知表の評定は「1」や「2」ばかりでなく、「3」や「4」が並ぶことも多くなった。「施設での活動を学校側が認め、評価されている」という実感を子どもたちが持つことが大切」と代表の梅澤秀明さん(68)は力説する。

「利用料が月額3万円と高額だったので、市からの2万円の補助がなければ、息子をフリースクールに行かせる選択はなかった。草津市内の中学に在籍する男子生徒の母親(41)が振り返る。息子は小学4年から不登校になり、一時は登校するようになったが、6年で再び学校に通えなくなった。親以外の誰とも話さない状態だったが、週1回のフリースクールで担当の大学生と仲良くなり、成長も感じられたという。助成制度創設の背景には、不登校の児童や生徒に

を立ち上げた。そこで議論されたのが、通知表の在り方だった。不登校の生徒の通知表には、最低の「1」や判定不能を意味する「/」が並ぶことが多い。学びに対する評価が難しいためだが、児童生徒の心を傷つけてしまうこともある。そんな状況を改善しようとした。

当初は、施設と学校では使用する教材が異なるため、「施設での学びの反映は難しいのではないか」との消極的な声が根強かったが、会合での話し合いを通じて、「同一の課題で評価しなくてもいい」との共通理解が生まれたという。

現在、同施設は生徒が在籍する学校に対し、学んだ各教科の日時や時間、具体的な内容を書

舞鶴 施設の学習を通知表に反映

舞鶴市の府教委認定フリースクール「聖母の小さな学校」は、施設に通う不登校の生徒が在籍する中学校、教育委員会などと協力し、同施設での活動を在籍校の通知表の評価に反映してもらい取り組みを続けている。全国的にも珍しく、施設関係者は「登校できていなくても、学校は自分のことを見てくれているという前向きな気持ちが芽生える。社会的自立に向けて大きな力となる」と意義を強調する。

1989年に開校した同施設は、生徒の学校復帰や社会的自立に向けて、学校や教育委員会との連携を重視してきた。2007年度には府教委の委託事業として、学校外の学びを評価する研究会

2学期から不登校になった中学生の通知表の「1」でなく、加味され、美術の評定が「1」ではなく、「2」になっている。一部画像を加工しています。

通知表の記入例		通達時の記録	
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	A	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	B	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	C	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	D	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	E	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	F	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	G	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	H	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	I	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	J	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	K	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	L	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	M	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	N	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	O	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	P	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	Q	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	R	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	S	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	T	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	U	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	V	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	W	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	X	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	Y	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる
自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	Z	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる	自分の学習の進捗や理解度を客観的に評価し、考えたことを表現できる



京滋から